

リハビリ部の取り組み 言語聴覚療法



Team Shida

言語聴覚士とは

話す、聞く、表現する、食べる…。
誰でもごく自然に行っている事が、病気や事故、加齢などで不自由になる事があります。
ことばによるコミュニケーションや嚥下に問題がある方々の社会復帰をお手伝いし、自分らしい生活ができるよう支援します。

「言語」「聴覚」「嚥下」などの障害を持つ方をサポートします



私たちが日常生活を送る上で欠かすことのできない“ことば”と“食べる”を支援します

コミュニケーション

人と人が存在し、そこに生まれるコミュニケーション。
ことばがうまく出てこない。発音できない。声がでない。耳が聞こえない。人とうまく関われない。
言語聴覚士は、コミュニケーションの障害に専門的にかかわります。



飲む・食えること

食えることは、生きること、楽しむこと、幸せを感じること。
食べ物を認識し、口に入れ、嚥んで飲み込む。
それは、頭や喉、口などの巧みな機能と働きによって行われています。
言語聴覚士は、病気や加齢などで、うまく飲み込めない、食べられない、摂食嚥下障害のリハビリテーションを行います。



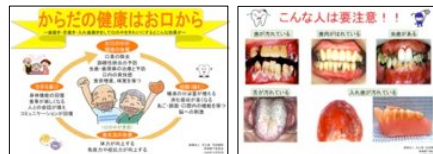
このような活動も行っています



多職種で、食事姿勢・動作・嚥下など食事に関する環境の検討を行う
[食事環境改善ラウンド](#)



多職種で、口腔内の状態や歯磨きなどの確認を行い、いつまでも美味しく食べられる口づくりを目指す
[口腔ケアラウンド](#)



お口の健康の大切さを
[ポスターにて呼びかけ](#)



[患者・利用者様向け勉強会開催](#)



[スタッフ教育としての勉強会開催](#)

患者様・利用者様そしてそのご家族が、住み慣れたところで、そこに住む人々とともに、一生安全に、いきいきとした生活が送れるよう取り組んでいます。
コミュニケーションや口から食べることの喜びを感じ、笑顔で、自宅退院・社会復帰されることに、少しでもお役に立てるよう努力します。

リハビリ部の取り組み・言語聴覚療法